

2570808901

にほんご よむよむ文庫 レベル 1

わら ばなし
笑い話

ほし
「星をとる」

げんてん せいすいしょう
(原典 『醒酔笑』)

はや
「だれが早い？」

げんてん たい みそす
(原典 『鯛の味噌津』)

かね
「お金がありません」

げんてん ものがたり
(原典 『きのふはけふの物語』)

みせ たいへん
「店は大変？」

げんてん ものがたり
(原典 『きのふはけふの物語』)

簡約 (かんやく) : 山崎 俱子 (やまざき ともこ)

挿絵 (さしえ) : 霧生 さなえ (きりう さなえ)

監修 (かんしゅう) : NPO法人日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

日本語を勉強しているみなさんへ
「にほんごよむよむ文庫」は、
日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。
楽しみながらたくさん読んでください。
やさしいものからたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。
読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいですよ。
目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

Masarykova univerzita Filozofická fakulta, Ústřední knihovna	
Příč.č.	15-8901-08
Sign.	
Syst.č.	56 29 27

星をとる

夜です。

庭に子どもがいます。

空に星があります。

たくさんあります。

とてもきれいです。

子どもは空を見ます。

「うわあ、きれいな星！」



子どもは星がほしいです。

星がとりたいです。

棒でとります。

長い棒です。

「星がほっこー！」

星がとりたい！」



お父さんが来ます。

そして、言います。

「だめだめ。その棒は長くない。短いよ。」

星は遠いよ。だから、だめだめ。そこはだめ。

屋根の上がいいよ」



だれが早い？

「うぐいす」は、春の鳥です。

春に鳴きます。

うぐいすの声は、「ホーホケキヨ」です。

とてもきれいな声です。

みんな、早くうぐいすの声を聞きたいです。

今年も春が来ました。



一郎の家に、
二郎、三郎、四郎、五郎が来ました。
五人は一緒にお酒を飲みます。

一郎が言いました。

「私は今朝、うぐいすの声を聞きましたよ。

今年は、私が一番早い！」

二郎が言いました。

「いいえ。それは早くないですよ。私は

昨日の朝、聞きましたよ。私が一番早い！」

次に、三郎が言いました。

「いいえ。それは早くないですよ。私は

一週間前に聞きましたよ。私が一番早い！」

四郎が言いました。

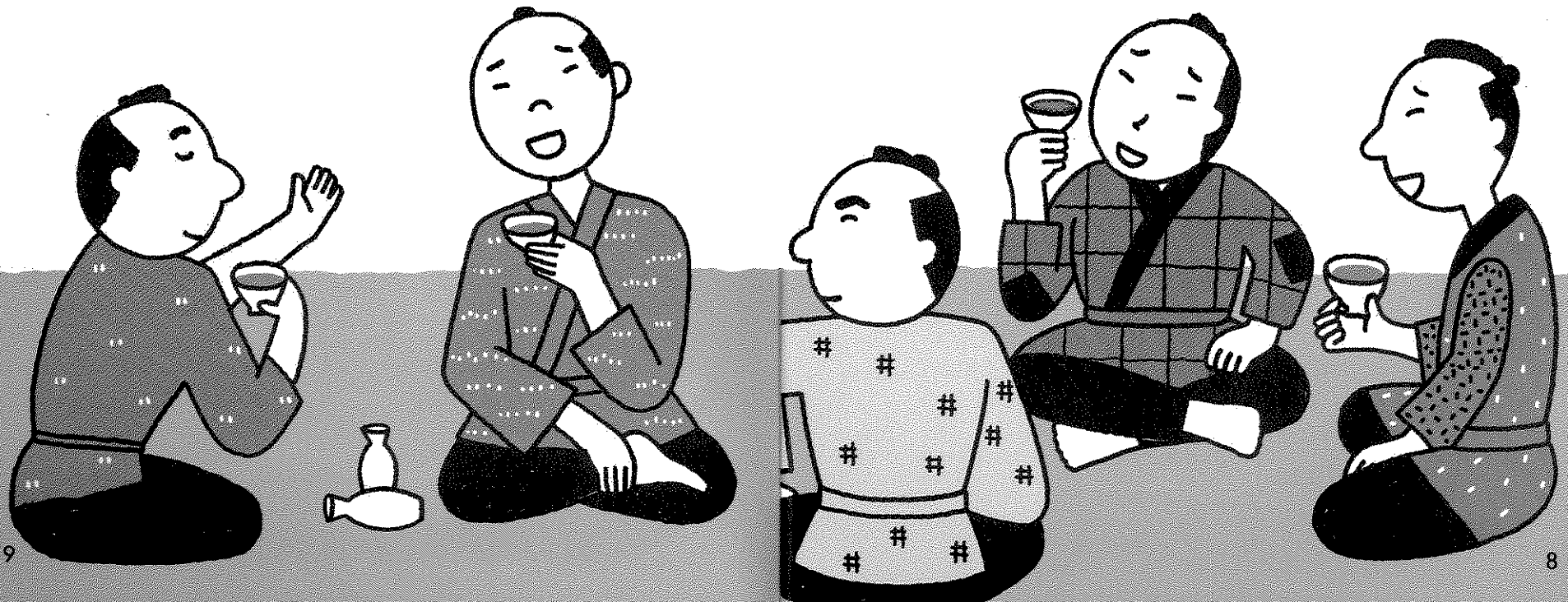
「それは早くない。私は一か月前に

聞きました。私が一番早い！」

五郎が言いました。

「みんな、早くない、早くない。遅い、遅い。

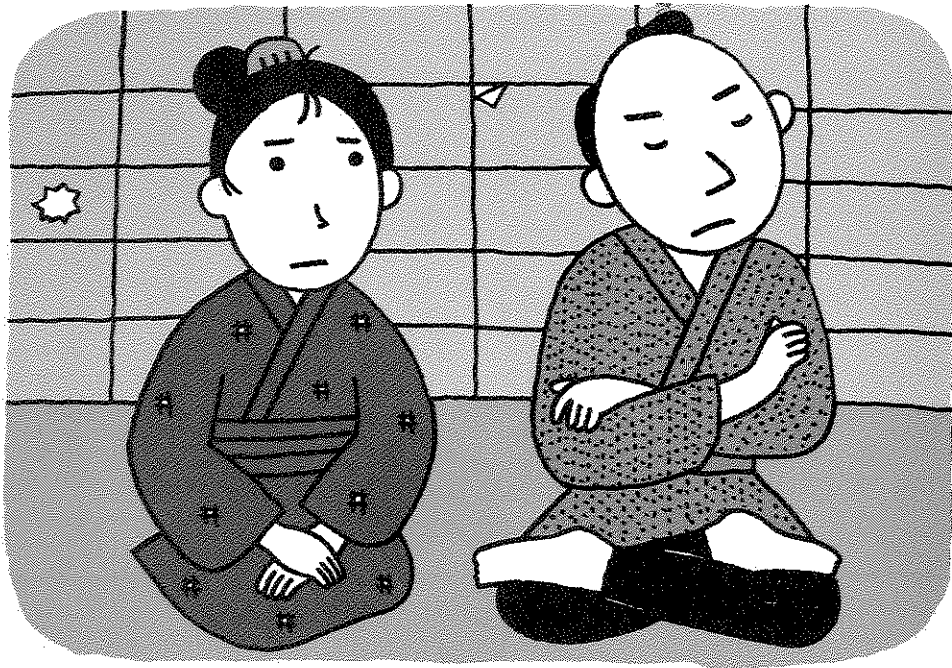
私は、去年の春に聞きましたよ」



毎日、たくさんの方が
秋夫の舟に乗ります。
そして、
秋夫はお金をもらいます。
これが秋夫の仕事です。



お金がありません
これは、秋夫と春子の
うちです。
うちの近くに川があります。
そこに舟があります。
秋夫の舟です。



春子はうちの仕事をします。

毎日、掃除をします。洗濯をします。

ご飯を作ります。

秋夫と春子は、二十年前に結婚しました。

春子は二十年前、きれいでした。

でも、今は若くないです。

もう、きれいじゃありません。

秋夫はもう、

春子が好きじゃありません。



ある日、秋夫は春子に言いました。

「あなたは、もう、きれいじゃありません。

私はもう、あなたが好きじゃありません」

春子は言いました。

「わかりました。

では、私はこのうちを出ます。

私の母はまだ元氣です。

私は母のうちへ行きます」

春子は、きれいな着物を着ました。
化粧もしました。

今は、とてもきれいです。

春子は言いました。

「じゃあ、さようなら」

秋夫は春子を見ました。

そして、小さい声で言いました。

「春子はとてもきれいだー!」

でも、春子は、今からお母さんの

うちへ行きます。

もう、このうちには帰りません。

——私が悪かった——

秋夫は言いました。

「私も川まで一緒に行きます」

二人は川まで行きました。

いつも、秋夫の舟で、春子のお母さんのうちへ行きます。

春子は秋夫の舟に乗りました。

秋夫は春子に言いました。

「お金をください」



春子はるこが言いいました。

「え？ 私わたしは、お金かねがありません」

秋夫あきおが言いいました。

「お金かねがありません？」

そうですね。それではだめです。帰かえりますよ」

秋夫あきおは、春子はること一緒いっしょにうちへ帰かえりました。

秋夫あきおはとてもうれしそうです。



店は大変？

大きい店があります。

たくさんの方が店で働きます。

太郎も店で働きます。

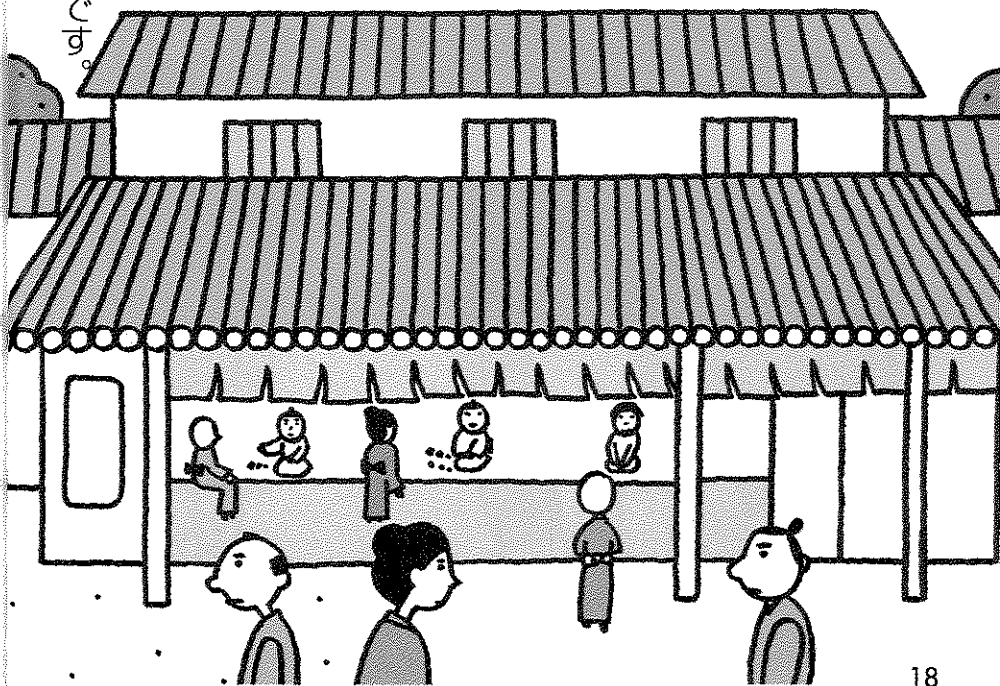
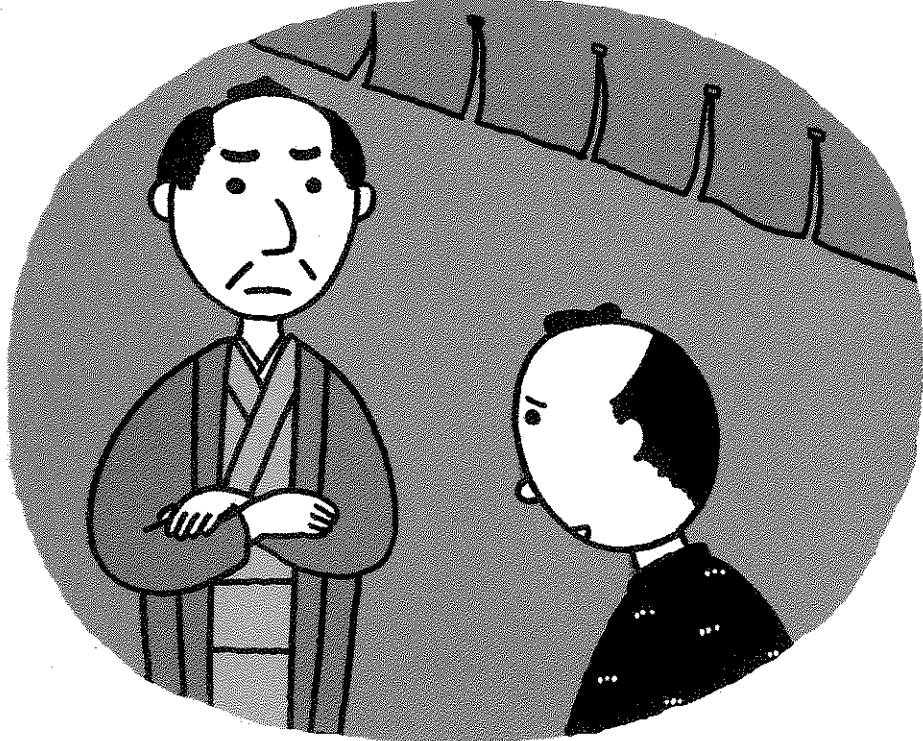
店はとても忙しいです。

太郎は、毎日、毎日、たくさん働きます。

朝から夜まで働きます。

とても疲れます。

でも、お金はあまりもらいません。少しだけです。



太郎は小さい声で言いました。

「楽しくないなあ。」

もう働きたくないなあ」

太郎は、夜、店で寝ます。

他の人たちと一緒に寝ます。

太郎は、うちで、一人で休みたいです。

一人で寝たいです。

次の日、太郎は店の人に言いました。

「私は病気です。うちに帰ります！」

いま、太郎はうちにいます。

うちは山の近くにありますが。

とても静かです。

太郎は、夜、一人で寝ました。

次の日。

太郎は起きました。

もう、昼です。

太郎は言いました。

「お茶が飲みたいなあ」

でも、お茶がありません。

「ご飯も食べたいなあ」

でも、ご飯がありません。

何もありません。

太郎は川へ行きます。

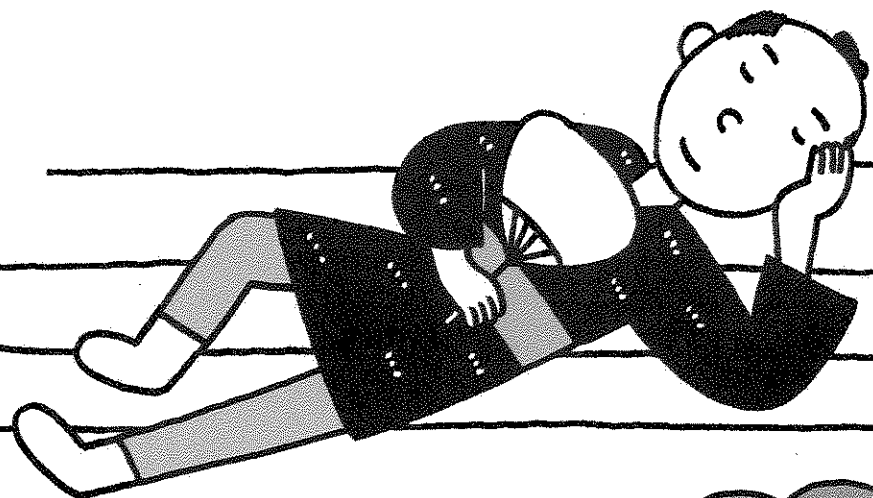
魚をとります。

太郎は山へ行きます。

果物をとります。

そして、うちへ帰ります。

料理をします。



料理は大変です。一時間……、二時間……。

「いただきます！」

次の日から、太郎は毎日、

川へ行きます。

山へ行きます。

料理をします。

掃除もします。

洗濯もします。



とても大変です。

楽しくないです！

太郎は言います。

「店には、いつも水があります。お茶もあります。ご飯もあります。

だから、私は川へ行きません。山へも行きません。

料理もしません。掃除もしません。

私は、店がいいです。私は、また店で働きたい！」

これは、日本語学習者のための「読みもの」シリーズです。
学習者がレベルに応じて、楽にたくさん読めるように、語彙や文法が制限してあります。

- 初級から中級まで4レベルあり、昔話、創作、名作、伝記など内容もさまざまです。楽しく読んでもらうために、カラーの挿絵が豊富に使われています。
- 漢字には全部ふりがなが付いています。たくさん読むうちに、自然に漢字の読み方や言葉が身につくでしょう。レベル3まではカタカナにもふりがなが付いています。
- 例外的に制限語彙以外の言葉が使われている部分もありますが、その場合は文中で説明したり、挿絵を付けるなどして、理解できるよう工夫されています。
- 朗読CDを聴きながら読んだり、読んだ後で、朗読だけ聴いて楽しむこともできます。また、シャドーイングをして発音やリスニングの力をつけることもできるでしょう。

レベル 能力試験 語彙 字数/1話 主な文法項目

1 初級前半	4級	350	400 ~1500	現在形、過去形、疑問詞、~たい など ※「です・ます体」だけを使っています。
2 初級後半		500	1500 ~2500	辞書形、て形、ない形、た形、 連体修飾、~と(条件)、~から(理由)、 ~なる、~のだ など
3 初中級	3級	800	2500 ~5000	可能形、命令形、受身形、意向形、~とき、 ~たら・ば・なら、~そう(様態)、 ~よう(推量・比喩)、複合動詞 など
4 中級	2級	1300	5000 ~10000	使役形、使役受身形、~そう(伝聞)、~らしい、 ~はず、~もの、~ようにする/なる、 ~ことにする/なる など

※語彙は、『日本語能力試験出題準準【改訂版】』（国際交流基金・財団法人日本国際教育協会編、凡人社、2002年）の級別語彙表を参考に、文法項目は、市販されている主な初級テキストの文法シラバスを参考にレベル分けしています。
※本書の試作版は、大阪教育大学、JET日本語学校などの日本語学習者に実際に読んでもらい、フィードバックをいただきました。

テキスト名
 『みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ』 スリーエーネットワーク編著 スリーエーネットワーク
 『新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ』 文化外国語専門学校編著 文化外国語専門学校
 『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE Ⅰ~Ⅲ』 国際日本語普及協会編著 講談社インターナショナル
 『Situational Functional Japanese Ⅰ~Ⅲ』 筑波ランゲージグループ著 凡人社
 『初級日本語（げんきⅠ・Ⅱ）』 坂野永理、大野裕 ほか著 ジャパンタイムズ

<監修者紹介>

NPO法人日本語多読研究会（にほんご たどく けんきゅうかい）

当研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることを目的に、日本語教師が集まって、2002年1月に発足しました。2006年9月にNPO法人になりました。「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」授業の実践・研究をしたりしています。http://www.nihongo-yomu.jp

レベル別日本語多読ライブラリー（にほんごよむよむ文庫）

【レベル1】 vol.1

笑い話

2006年10月10日 初版 第1刷 発行
2008年2月29日 初版 第2刷 発行

簡約：山崎 俱子（日本語多読研究会会員・日本語教師）

作画：霧生 さなえ

監修：NPO法人日本語多読研究会

ナレーション：山中 いっとく

録音・編集：スタジオ グラッド

デザイン・DTP：有限会社トライアングル

発行人：天谷 修平

発行：株式会社アスク出版

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6

TEL.03-3267-6864 http://www.ask-digital.co.jp

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

©NPO法人日本語多読研究会 2006

Printed in Japan ISBN978-4-87217-624-7